頂上社開門
いざ!!
お山へ!!

石鎚社報

発行所
〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地
石鎚神社・石鎚本教
電話（0897）55-4044

5・6月号

道

神道に「むすひ」という言葉が有ります。「むす」は生じる。「ひ」は「御神威」の意味とされます。無から有を、万物を生み出し育む「力」。後世「むすび」とも言われます。

苔むす、と申しますと解り易いかと思います。何もないところに苔が生え、次第に一面に苔が成長し広がって行く様子を、私たちの先祖先人も実に不思議な思いで見ていたのでしょうね。

男女が結ばれ、生まれてきた子供は「むすこ」「むすめ」と呼びます。

知らぬ者同士が様々な出会いの中でご縁を結び新たな物語が始まる。思えば人生はご縁の集大成です。

御山登拝の時期が参りました。神様と人様とのご縁を今年も結ばせて戴き、心新しい日々を迎えましょう。　武智。

四月五日 石鎚神社春季例大祭さくら祭

去る四月五日（金）ソメイヨシノが満開に咲き誇る中、石鎚神社口之宮本社御本殿にて、春季例大祭・さくら祭りが盛大に斎行されました。

当日は、全国各地より多数の石鎚信徒を始め、御来賓に神社界政界各界よりのご参拝を賜り、午前十時より祭典を斎行。

祭典は「石鎚立螺之会」の皆様の勇ましい立螺、伯方島獅子舞の奉納に始まり、

神御衣献上撤下初穂献上が奉られ、武智宮司が祝詞を奏上し、日々のご神恩に感謝すると共に、五穀豊穣と国家の安泰、世界人類の福祉と平和を祈願しました。

続いて巫女が浦安の舞を奉納。また喜多浦八幡太鼓による天狗太鼓を奉納頂きました。伯方島獅子舞と喜多浦八幡太鼓は、睦美教会長田窪一善元老大顧問銀笏のお世話によりご奉納頂きました。誠にありがとうございます。

そして玉串を奉り拝礼し、今日の日をお祝い申し上げると共に、それぞれの願いを祈願して厳粛に祭典を終了致しました。

祭典に引き続き神御衣が
広島県　神田山教会
福岡県　敬祥教会
大分県　金子遙拝所
へそれぞれ下付されました。

辞令伝達にて
佐々木規人権禰宜
禰宜、本教宗務局次長
大岡忠徳権禰宜　禰宜
の辞令が渡され、

来賓祝辞として
愛媛県神社庁副庁長
綾延神社宮司　森　正康様
参議院議員山本順三様御代理
山本　舞祈子様
愛媛県議会議員
明比　昭治様
よりご挨拶を頂戴しました。

祭典後、神輿にご神像をお遷しして神輿渡御が行われ、こども樽神輿や敬神婦人会の花神輿、お稚児行列も賑

やかに社務所前へ到着し、一回目のお餅撒きが行われました。

神輿が御旅所に着御すると、お旅所祭が執り行われ

巫女による豊栄の舞や西田獅子舞保存会の獅子舞、敬神婦人会の「手踊り」と本年より新たな踊りとして、作詞作曲故新井満氏、秋川雅史氏が歌っている「石鎚山」が奉納されました。

その後、御神像は、本殿に還御、御神像拝戴がなされ、二回目のお餅撒きが本殿向拝より執り行われ、福木もその時に併せて撒かれました。

なお、お餅は

徳島県　東予崇敬組合徳島支部
　支部長　武田喜善　名誉部長
愛媛県　原井川平
　元老大顧問　神鏡笏

また、神御衣は

大阪府茨木市　矢野棟子様
新居浜市　大西彌太郎　元老

の方々にご奉納をいただきました。有り難うございました。

福木投げの当選者

特賞一等　電気圧力鍋
　松山市　西原　裕子様
特賞二等　サイクロン
　クリーナー
　松山市　淺山　弓恵様
特賞三等　壁掛け扇風機
　福岡市　福岡神和教会様
特賞四等　三枚刃シェーバー
　西条市　井上　心様
特賞五等　超軽量高圧洗浄機
　松山市　中本　絵里香様
特賞六等　シュレッダー
　西条市　伊藤　琢磨様
特賞七等　つかもみ
　マッサージャー
　新居浜市　藤田　亜須可様
特賞八等　ハンディ
　マッサージャー
　新居浜市　伊藤　瑠莉様

境内では、石鎚敬神婦人会のお茶席のお接待が本殿前休憩所にて行われ、ご参拝の皆様も憩いの一時を過ごされました。

今大祭で各方面にてご奉仕、ご奉納を賜りました豊友会、敬神婦人会、信徒の皆様方には、誠心からのご奉仕をいただき、無事盛大に春季例大祭を斎行出来ましたことをこの場をお借り致しまして篤くお礼申し上げ、信徒皆様の今後益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし、ご報告と致します。

記　権禰宜　曽我部　洋輔

※（ご芳名は全て順不同です）

四月六日 祖霊殿 春季例大祭・合祀祭斎行

境内にある祖霊殿。石鎚山開山の祖・役小角をはじめ社司・宮司、霊峰石鎚の為にお力添えを戴きました先達・教師にして帰天されました方々をお祀りしており、毎年四月・十月の六日、午前十時より例大祭並びに合祀祭を斎行しています。

春季例大祭は桜花爛漫の中、関係御遺族・神社役員のご参列を戴き斎行されました。

合祀されました御霊の在りし日の面影を偲び、思い出の数々を顧みる中に凛としたお姿、また皆を導く大きな背中、優しいお顔を思い出しながら御霊安かれと祈念致しました。先達・教師の皆様が築かれました篤き志を、また優しき御心を継がれますことをお祈り申し上げます。

この度合祀されました新祭神をご紹介申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

御案内

御遺族様には該当の命日月（毎月十五日、月次祭終了後・案内は月を先取りしています）に命日祭の御案内を差し上げています。住所変更あります方はご一報願います。

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内は新祭神（合祀該当者）と過去三年以内に合祀された御遺族の方へ案内を差し上げております。以外の御遺族様も、是非とも御参列戴き、御霊和めの祭典を共に御奉仕したいと思います。

春秋大祭・命日祭への数多くの御参列をお待ちしております。

○先達会符の名義変更などお済みでない御遺族様、またご不明な点等ございましたら遠慮無く神社までご連絡下さい。

令和六年 四月六日 祖霊殿合祀祭神名

元老大顧問
権中教正
古門　孝義　大人命

元老
岡本トミ子　刀自命

元老
深川　宮子　刀自命

名誉部長
少講義
池田　春登　大人命

副監長
深川　善平　大人命

取締
井上　克子　刀自命

（順不同）

お初穂奉納者

四月五日
石鎚神社春季例大祭

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《本　社》

◎四拾六万円以上
福岡神和教会　佐伯　良子

◎参拾五万円以上
大阪教会　湊　喜美子

◎弐拾万円以上
導不動院遙拝所　岩﨑　光照

◎壱拾五万円以上
大分石鎚教会　江藤　秀人
香春教会　川津　守秀
睦美教会　田窪　一善
葉山教会　岡村　信一
吉見教会　加藤　法泰

◎壱拾万円以上
大打山遙拝所　石﨑　昌司
吉田教会　越智　汀祐
神明遥拝所　大西サカエ
和食教会　安岡桂一郎
佐川教会　片岡　抄織
㈱浦松興産　浦松　大八
霊威教会　中西　幸男
大分市　中西　幸男
大分石鎚教会勝山遙拝所　黒田　明子
東雲講社　入江　伸明
宇和島市

◎八万円以上
愛知遙拝所　澁谷恵美子

◎七万円以上
福山市　赤坂教会

◎六万円以上
富海教会　松岡　英二

◎五万円以上
穂波教会　越智　節子
北九州市　門司教会
西条市　十亀　興美
高松市　大髙　久呼
下関市　下関教会
防府教会　山中　將史
福山市　岡本　嘉孝
石鎚登山ロープウェイ㈱　伊藤　和豊
別府市　浦松　傳

（順不同・敬称略）

五千円以上のお初穂奉納者につきましては、本社手水舎前に掲載させていただいております。

令和六年二月一日～
令和六年三月末日

《本　社》

◎壱百万円
松山市　伊藤　博

◎五拾万円以上
松山市　不動教会

◎参拾万円
来島　源治

◎壱拾万円以上
尾道市　西原　善久
栃木市　(株)阿　部

◎五万円以上
福岡神和教会　佐伯　良子
北九州市　古門　君代
千葉県　木村　篤子

（順不同・敬称略）

真心のご浄財・御奉納を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。

文責　権禰宜　大岡

投げ餅　ご奉納

石鎚神社本社　春の御大祭
東予崇敬組合　徳島支部
支部長　武田喜善　名誉部長

去る四月五日、石鎚神社本社の春の御大祭「さくら祭」に、東予崇敬組合徳島支部の皆さまが、投げ餅を奉納されました。

石鎚大神様への献上の思いを込め、丹念に一つずつ作り上げてのご奉納です。

皆様の笑顔のご奉仕に、大神様もお喜び、大祭当日は実に盛大な餅投げとなりました。

深く御礼を申し上げ、ご奉仕の皆さまのご紹介と致します。

権宮司　十亀　博行

ご奉仕・ご奉納者

武田　喜善・石井富三子
藤本　敏男・藤本　園枝
星川　弘明・森岡　政和
森岡百合香・河合　純子
梶浦　和恵・武田みどり
上田佐知子・住友　敬子
渡辺　功子・六車　君子
平岡　武子・藤本　優里
藤本　幹世・定岡　凡悟
上田　結麻・上田　空璃
上地あゆみ・岩見　正子

（順不同・敬称略）

預かり賽銭のお願い

「預かり賽銭」とは

石鎚神社・石鎚本教の三つの大祭に於きまして、期間中にご参拝出来ない信徒の皆様が、ご代表様、お世話人様に代理参拝をお願いし、皆様方のお賽銭をご奉納頂く事です。

この「ご奉納」を通じて、より多く皆様方に、大神様のご神徳を拝受して頂きたく存じます。

各教会・遙拝所・講社のご代表様は、御神徳発揚の為、一人でも多くの信徒皆様方へ、ご協力をお伝えして頂きたく存じます。

また、各教会・遙拝所・講社に所属の皆様方は、ご代表様、お世話人様にお尋ね下さい。お世話人様がご不明な方は、本社へご連絡をお願いします。

春季例大祭
毎年四月四日～七日
（例大祭は五日）

夏山開き大祭
毎年七月一日～十日

秋季例大祭
毎年十月四日～七日
（例大祭は五日）

◎お供え頂いた「預かり賽銭」の初穂料により、大祭毎に定められた御神札をお世話人様へお預け致します。後ほどお受け取りいただき、お祀りくださいませ。

※預かり賽銭の帳面は、大祭の約二ヶ月前までにはお届けいたします。

お問い合わせ先
愛媛県西条市西田甲七九七
石鎚神社・石鎚本教
TEL ○八九七―五五―四○四四
FAX ○八九七―五五―七二四二

石鎚神社氏子会　大幟旗奉納

石鎚神社氏子会が本社神門前の大幟旗を新調し、奉納いたしました。

氏子会を中心に有志の皆様にもご協力いただき、奉納する運びとなりました。

御寄付奉納者御芳名
順不同・敬称略

氏子会会長　岩本廣志
氏子会世話人　曽我政夫　他23名
常務総代　十亀貴文　他23名
氏子総代　藤原　拓　他10名
西条周桑崇敬組合長　佐伯義明他9名
西条協和教会長　秋山一幸
氏子立螺之会　他11名
伊藤綱男　他11名
石鎚神社　青組一同　他30名
曽我部保　他20名
髙橋政子　他13名
桑名義文　他20名
工藤文也　他19名
工藤啓太　他16名
工藤増美

神社の各大祭に掲揚する予定です。大迫力の大幟旗、是非参拝の折にご覧ください。

ご奉納誠に有難うございました。

記　権禰宜　十亀

お山開き大祭　頂上社　御神酒奉納のご案内

「祈り、命蘇る」霊峰石鎚山のお山開き大祭が目前に迫って参りました。

頂上社では頂上社専用の御神酒（一升紙パック）のご奉納を募っております。

初穂料　金一〇、〇〇〇円

ご希望の方は下記に**住所・氏名・電話番号・登拝日・郵送先**をご記入の上、本社へFAXもしくは郵送にてお申し込み下さい。

大祭後、お下がりを発送いたします。準備の都合上、**締切は六月二十日**とさせていただきます。

奉納者のご芳名を頂上山荘内に掲示致しますので、取りまとめてお申し込みの方は、奉納者全員分の名簿をお知らせ下さい。尚、お下がりの発送先も忘れずご記入下さい。

お山開き大祭中、頂上へご登拝されます方は、登拝日もご記入下さい。

※毎年奉納されています方へは例年通りご案内を発送させていただきますので、そちらをご活用下さい。

申込先
〒七九三－八五五五
愛媛県西条市西田甲七九七
石鎚神社頂上社御神酒奉納
担当　権禰宜　勝本貴大
TEL〇八九七－五五－四〇四四
FAX〇八九七－五五－七二四二

お山開き大祭　頂上社　御神酒奉納　申込書

令和　　年　　月　　日

代表者	氏名		住所	〒

御神酒奉納者名簿

初穂料合計一金　　円也

氏名		電話番号		郵送先（○をお付け下さい）
住所	〒		登拝日	直送 ・ 代表者へ
氏名		電話番号		郵送先（○をお付け下さい）
住所	〒		登拝日	直送 ・ 代表者へ
氏名		電話番号		郵送先（○をお付け下さい）
住所	〒		登拝日	直送 ・ 代表者へ

1件（1人）に付き10,000円　　◎送金方法　①郵便振替　②銀行送金　③現金書留

石鎚敬神婦人会本部役員総会
二月二十日開催

岡村加代子会長

去る二月二十日、石鎚神社本社におきまして会員三十一名、本社よりは武智宮司を始め常務総代・氏子総代・本教理事・組合長・教会長・遥拝所長など十五名の役員の方々のご出席をいただき総勢五十四名の参加の中、石鎚敬神婦人会本部役員総会が開催されました。

今年は新型コロナ感染症も五類へ移行し、コロナ前の形に戻る中、午前八時三十分から御本殿におきまして開会奉告祭・御神像拝戴の神事が執り行われました。

近日季節外れの暖かい朝を迎える中、岡村会長を始め役員と参加の会員が心一つに御神像拝戴を奉仕し、滞りなく神事を取り納めました。

会場を神社会館に移し、本部役員総会が始まりました。

先ず新理事任命書が脇町遥拝所支部　藤本幹世理事と伊予教会支部　肥田真由美理事に手渡されました。

○議案審議事項

令和五年度事業報告

令和五年度決算書

創立五十五周年報告

令和六年度事業計画

（教化・研修・庶務・財務）

各部会　事業計画報告

令和六年度予算書

その他

・能登半島地震義捐金の件

・春季例大祭の件

・青少年錬成会の件

・お宮で文化祭の件

・頒布品一部値上げの件

が審議され

議案審議事項はそれぞれ満場一致で承認されました。

○創立五十五周年報告では、記念事業として一握り会計より、神社会館会議用テーブルを四十台贈呈し、初めての総会の開催を迎えました。

また、研修旅行では、土小屋遥拝殿参拝を十一月六・七日の一泊二日で実施し、御神像拝戴神事後、工事の現状説明や現場を見学し道後温泉にて懇親を深めました。

○能登半島地震神社義捐金は、一握り会計より三十万円捻出し、神社本庁経由で被災地へ送らせていただきます。

○春祭りには『敬神婦人会の手踊り』と島本副会長に振付けいただいた『石鎚山』を奉納する予定です。

○「たかね」は会員皆さんで作る会報です。おかげ話、郷土料理、料理の簡単レシピ、民謡、俳句、短歌、家庭の知恵袋、なぞなぞ、お知らせ等投稿をお待ちしております。

分科会では支部の紹介や、支部の活動などの記事を掲載してはとの声がありました。四月の春季例大祭までに記事がありましたら原稿をお寄せ願います。

○恒例のお宮で文化祭『**奉納いしづち泣き相撲**』は、今年五月六日（月）の予定です。

○事業品『石鎚魔よけ猿』は、石鎚みやげの伝統であります。神社会館にて今年四九五個販売致しました。

石鎚山の伝統を継承すべく、多くの方にお求めいただければと思います。

○本年第五十七回の石鎚青少

年錬成会は八月十七日（土）～十九日（月）二泊三日にて行われます。敬神婦人会からも旅費の一部を一握り運動より助成しています。

○創立四十五周年の記念誌「石鎚山のおかげ話」はご依頼があれば贈呈いたします。

○春・秋の大祭にて花神輿のご奉仕ありがとうございます。今年も多くの会員と共に盛り上げたく思っております。ご参加を宜しくお願いします。お茶席も、実施しますので、沢山の方々にお越し願えればと思います。

○会費は敬神婦人会の活動資金です。未納の支部には改めてお知らせをいたしますので納入をお願いします。

○婦人会事業として国旗・会服・一筆箋・ジャージ・魔除け猿などの販売をしています。

今年度より、物品の値上げの為一部価格の変更をいたします。ご協力をお願いいたします。詳しくは会報「たかね」をご覧下さい。

○また、「古切手」の収集を継続して行っています。海外の子供たちの予防接種等、医薬品を購入する資金となります。ご協力をお願いします。なお、切手につきましては周囲五ミリ以上離して、切り取ってお集めください。

発送は
石鎚神社　敬神婦人会　宛
へお願いします。

今年度も会長を扇の要として、会員一同心を一つに敬神婦人の輪を広げ、頑張って行きたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

禰宜　大岡記

令和六年
霊峰石鎚山お山開き大祭
幟旗奉納者募集（三十本限定）

【奉納場所】

○頂上社周辺　十本
○二ノ鎖小屋周辺　六本
○本社本殿周辺　十四本

【奉納料】

○金、五千円也（一本）

※奉納場所は先着順にてお受けいたしますが、ご希望に添えない場合はご了承下さい。
※荒天時は幟を格納する場合があります。
※申込をいただきましたら、振込用紙を送付させていただきます。
※ご不明な点は、お問い合わせ下さい。
TEL　0897-55-4044

（担当　禰宜　大岡）

第七十四回（令和六年三月八日～十日）石鎚本教所属教師講習会　開催

第七十四回石鎚本教所属教師講習会が、五十九名の参加を得て、三月八日から二泊三日の日程にて開催されました。

今講習会より主幹を十亀雅史権禰宜が、副を勝本権禰宜が務め、祭祀の厳修を主に基礎作法・行事作法を中心とした講習で、二日目三日目の早朝には禊を行い、心身共々に鍛える講習となりました。

一日目の午前中には本殿で開講式の後、会館にて武智正人宮司・管長より「本教教師の心得」、十亀博行権宮司・宗務局長より「神社本教の概要」の講話を頂きました。午後は正坐・拝の角度・笏法をはじめとする基礎作法の鍛錬、夕拝前には翌朝行われる「禊」の作法を学び一日目は終了。

第二日目は修祓をはじめ、行事作法を大祭式に則り実技を行い行事作法の円熟につとめ、夕方に終了奉告祭の所役が伝えられて二日目終了。

最終日は、講習会の習熟度を見せて頂く為、講習生を二組に分け、全員に祭典の所役を割り当て、終了奉告祭を大祭式にて斎行致しました。

講習会で得た学びを日々の奉仕に生かして頂き、今後更なる活躍を期待致します。

また、今講習会での助教を担当して頂きました豊友会の皆様、誠にありがとうございました。

結びに、この講習会にご理解を頂きました各組合・教会・遙拝所の皆様に感謝を申し上げ、ご参加頂きました皆様のご健康、ご多幸を祈念し、報告とさせて頂きます。

記　権禰宜　曽我部洋輔

愛媛県 石鎚神社　南予崇敬組合 令和五年度 組合大祭定例総会

組合長 山内康治　元老顧問

日時　三月十七日
祭典　午前十時～
総会　午前十一時半～
場所　伊予市伊予郡遥拝所
開催支部　伊予市伊予郡支部

当日は肌寒く時より雨の降る中、伊予市伊予郡の水口泉遥拝所長を中心に数多くの参加者を頂き、本社より、武智宮司・田窪権禰宜・篠塚巫女・沖野常務総代が出向し組合大祭と定例総会が執り行われました。

先ず祭典は、伊予市伊予郡遥拝所長を斎主に厳粛に斎行されました。祭典の後には、御神像拝戴神事も執り行われました。続いて定例総会では水口泉遥拝所長を議長に選任し、物故者への黙祷に始まり、組合内の事業、収支の報告、令和六年度の事業計画・予算を審議し満場一致で承認、円滑に議事を進められました。総会後の直会も、和やかな雰囲気の中、親睦を深め納めとなりました。

次回は、西宇和支部での開催となっております。一人でも多くの参列、参加して頂けたらと思います。

今後も南予崇敬組会山内康治組合長を扇の要として役員が一つにまとまり、組合管内の活性化と信徒の皆様がご多幸でご健康でありますことをお祈りしてご報告といたします。

権禰宜　田窪　芳弘　記

三月二十四日 石鎚神社　備後崇敬組合 令和五年度 定例総会開催

組合長 西原善久　元老大顧問

去る三月二十四日（日）広島県福山市の赤坂教会において午前十時より石鎚神社備後崇敬組合定例総会が開催されました。

当日は雨の降る中、備後崇敬組合管内各地より十四名が参集、石鎚神社よりは、大岡権禰宜、田窪権禰宜が出席。岡本嘉孝副組合長を議長として総会が執り行われました。

神社に一礼・国歌斉唱・物故者への黙祷に始まり、お山開き大祭を中心に約二時間にわたり様々な問題や意見が出ました。

その中でも組合管内の教会・遥拝所・講社の方が現在抱えている悩み・問題など今後どう対策を立て一人でも多くの方に来てもらうか等の意見交換を行いました。本社への依頼・質問など貴重な意見交換するなど意義深い総会が進められました。

その後、懇親会が開催され終始和やかに終了しました。

備後崇敬組合が今年のお山開き大祭においてお下り三番の御神像奉持をご奉仕していただくことになり、お山開き大祭が盛大に且つ有意義に斎行されますことと、備後崇敬組合の益々のご活性、信徒皆様のご健勝とご多幸を心より申し上げ、ご報告と致します。

権禰宜　田窪　芳弘　記

東洋大心崇敬組合総会　東洋大心教会七十五周年祭　斎行

石田和史組合長
元老大顧問
大講義

高原政明教会長
元老大顧問
功労章銀笏
権少教正

三月二十四日春山遙拝所にて東洋大心崇敬組合総会、東洋大心教会創立七十五周年大祭が斎行され、本社より武智宮司、曽我部権禰宜、野村巫女が出向した。

当日は禊の雨を頂く中、東洋大心組合管内より七十名の信徒が参集、石田組合長司会にて、東洋大心教会役員紹介、令和五年行事報告、令和五年度会計報告・監査報告、令和六年行事予定と議事が進行され、令和六年度行事予定で九月十五日頃太鼓打ち方講習会が行われると伝えられた。

総会終了後、午前十時より高原政明教会長斎主にて祭典が斎行。日頃の大神様の御加護と七十五周年を迎えられたことへの感謝の心を教会長、宮司が申し上げ、巫女による豊栄の舞の奉納、宮司、教会長が玉串を捧げた後に、祭典に参列されている皆様が日頃の感謝を込めた玉串を捧げ祭典は滞りなく終了。

祭典の後に本社より感謝状の贈呈、先達教師の辞令発令が行われた。

直会では、組合、教会の方々と美味しい食事を頂きながら和やかな時間を過ごした。

今回、東洋大心教会は七十五周年の目出度き年を迎え今後も教会、組合の益々のご発展と、皆様のご健康ご多幸とを祈念しまして報告と致します。

感謝状、辞令を受けられた方々のお名前を順不同敬称略にて記載させて頂きます

感謝状
高原　政明
妹尾　有司
細羽　吉泰

辞令
副組合長　阪田　宗道
副教会長　下山　隆義

先達昇進
元老大顧問　沖本　一

名誉大監長　城戸　英明
特別大監長　増成　慎
特別大監長　刺田　哲男
副監長　藤本　頌太

教師昇進
大訓導　下山　隆義

記　権禰宜　曽我部　洋輔

東洋大心崇敬組合 春山遥拝所 所長　下山隆義　大会長 大訓導

本年の東洋大心教会の七十五周年奉祝大祭と組合総会は、春山遥拝所にて行われた。

岡山県吉備カントリークラブの入口付近に［左いしづちさんどうぐち］と彫られた石柱が有り、進むと広い広場と大きな社殿がある。平成十三年に再建立された春山遥拝所の里宮である。言伝えには宝永年間（一七〇四年頃）伊予国石鎚山より御分霊を祀ったとも聞き及ぶ。

春山遥拝所の奥宮の御山の巨岩には、不動明王や役行者を始め神仏の御姿が刻まれており、古来より崇められている霊山である。

文責、武智。

職員人事　四月一日付

佐々木規人　石鎚神社　禰宜　石鎚本教宗務局次長・責任役員

大岡　忠徳　石鎚神社　禰宜

佐々木規人権禰宜が、石鎚神社禰宜、石鎚本教宗務局次長・責任役員に、大岡忠徳権禰宜が石鎚神社禰宜に就任した。石鎚本教規則に依り、上席禰宜は本教宗務局次長・本教責任役員を拝命する。

辞令は、去る春の例大祭にて、十亀名誉宮司管長・愛媛県神社庁顧問と武智宮司管長より伝達された。

両禰宜は共に昭和四十三年生の同期である。益々の活躍を期待し、ご報告と致します。

文責、武智。

神職身分二級拝受　三月十日付

高岡　健　権禰宜

土小屋遥拝殿主任の高岡健権禰宜が、神社本庁より神職身分「二級」を拝受した。

昭和五十一年生。
平成九年　出雲大社國學館卒
　　石鎚神社奉職
平成十一年　石鎚神社権禰宜を拝命
　　土小屋遥拝殿主事を拝命
平成二十九年　土小屋遥拝殿主任を拝命

温厚、誠実、親切。土小屋遥拝殿の地元、久万高原町との友好な関係を築き遥拝殿の祭儀運営を行う。十二月から三月は本社にて石鎚本教［星祭り］の責任者として約六万名の申込を受けて祭儀を構築。

高岡権禰宜は以降の大祭式には、赤袍、紫の奴袴を著装、平素は、紫の差袴を常用する。

右、ご報告と致します。

文責、武智。

職員　勤続表彰　勤続三十年　四月一日

大岡　忠徳　権禰宜

大岡忠徳権禰宜が勤続三十年を迎え、永年勤続者表彰規定第二種により表彰を拝受した。

昭和四十三年生。本県新居浜市の白山神社、萩岡神社の社家に生まれ左記を以て現在に至る。

・皇學館大学文学部神道学科卒
・三重県御鎮座の椿大神社奉職
・平成六年石鎚神社権禰宜拝命
・平成二十八年神職身分二級を拝命
・総務部長（三月一日現在）

温厚、誠実、几帳面な性格にして諸事を確実に着実に行い積み上げてゆく。雅楽の篳篥（ひちりき）の名手にして神社庁講師。［四級下］と本県内で最高位を取得している。

精勤に感謝し、以て益々の精進を期するものであります。

文責、武智。

上浮穴郡教会 創立七十周年奉祝記念大祭 斎行

元老大顧問・少講義
坪内　続　教会長

令和六年三月十日午前十時より愛媛県上浮穴郡久万高原町の里に鎮まり坐す石鎚本教上浮穴郡教会創立七十周年奉祝記念大祭が斎行されました。

本年は教会を創立してより七十年の節目を迎えられたこの良き日に、本社より佐々木権禰宜、野村巫女、片岡が出向し、創立七十周年の奉祝大祭を信徒の皆様とともにご奉仕をさせていただきました。

迎えた大祭当日の天気は、三月とはいえまだまだ厳しい寒さが続く中でしたが、石鎚大神のお陰もあって好天に恵まれ、暖かな日射しも頂きながら、厳粛に祭儀が執り行われました。

祭典開始に先立ち、まず開式太鼓、祝詞奏上では坪内教会長が石鎚大神へ創立七十周年の祝の御年を迎えられての喜びと感謝、そして今後の教会の益々の発展と信徒の皆様の日々の健康と安全や弥栄を祈念し、祝詞を奏上されました。

祭典後には、信徒の皆様に先達の昇格辞令伝達、並びに感謝状の贈呈が行われました。その後、御神像拝戴神事、そして餅撒きが行われ、七十周年記念大祭を盛大に御祝いしました。

その後、教会所内にて直会が行われ、直会では子供たちの遊ぶ声も響いており微笑ましい場面が多くあったことが大変印象に残っております。

今後も坪内教会長を扇の要とし、また信徒の皆様が石鎚大神の益々の御守護とお導きを賜り、手を取り合い一丸となって崇敬の念を捧げて頂ければと思います。

上浮穴郡教会の今後益々の弥栄と信徒の皆様のご健勝ご多幸を祈念しつつ、先達昇進辞令、及び感謝状の下付のお名前を併せ報告とさせていただきます。

【先達昇進】
副大取締　坂本　広幸
取締　八塚　幸三

【感謝状】
若藤　義磨
鈴木　泰広
乃万　清子
鈴木千代美
兵頭　容子

（敬称略）

記　権禰宜　片岡

ご奉納

土小屋遥拝殿 門帳一張

和歌山県　岩出市
瀧谷　清子　様
瀧谷　直文　様

岩出市の瀧谷清子様、瀧谷直文様より、土小屋遥拝殿の社殿入口の門帳一張をご奉納戴いた。

今春に掛け替えを行った美しい張は春風に翻り、御神前の威は尚も増し、来る御山開き大祭を迎える。

瀧谷様は、全国の神社を参拝され御神縁を結ばれる中、以前から御神縁を戴く石鎚神社にご奉納された次第。

右、深く御礼を申し上げます。

文責、武智。

成就社　八大龍王社例大祭　ご案内

・日時　八月八日（木）午前十一時
　祈願木お焚き上げ
　大祓詞・般若心経　奉読

・祈願木は成就社・本社にて一本三百円にて頒布しております。

例大祭ご参列の方に、八大龍王社の例大祭当日のみの御神札を授与しております。盛大な祭典となりますよう、多くの方のご参拝をお待ちしております。

令和６年　石鎚神社会館・頂上山荘　予定

令和６年４月１３日現在

みなさまのご利用をお待ち申し上げております。

石鎚神社会館	４、５、６月	御山開き大祭中	7月11日～
宿泊	営業	営業　定員 200 名	営業
昼食	予約応談	予約応談	予約応談
売店	営業	営業	営業

石鎚神社会館　0897-55-4168　荒井・松木・宝利

頂上山荘	４、５、６月	御山開き大祭中 6月30日～7月10日	7月11日～
宿泊　定員25名	営業	休止	営業
昼食	平日、カレー・おにぎり 土日祝日、通常営業	通常営業 7月１日も営業あり	平日、カレー・おにぎり 土日祝日、通常営業
売店	営業	営業	営業

頂上山荘　宿泊予約専用　080-1998-4591　人見・渡部・片川

石鎚神社会館

石鎚神社会館は、緑豊かで閑静な神域（境内地）に立地しています。一年のうちで最も賑わう七月のお山開き大祭には、全国から多くの信者団体・参詣者が石鎚山頂上登拝のため、ご宿泊・お食事・ご休憩などにご利用いただいています。時折虫の声が聞こえる程度の静寂に身を委ねる時間が、心身をリフレッシュさせてくれるでしょう。

西日本最高峰、別世界の静寂に移ろう時間に宿る神々しさ

石鎚神社・石鎚本教の常任講師、「西海賢三博士収集の石鎚信仰を始めとする資料書籍群を石鎚神社で管理保管し一部を展示、石鎚山始め山岳信仰、民俗学、歴史学資料として公共に供す。」観覧希望の方は必ず事前に西海文庫長に直接ご連絡ください。　TEL:090-2906-1228

ご宿泊料金（平日）

（お一人様料金）　（税込価格）

	素泊り	２食付
シングル	7,000円～	9,500円～
ペ　　ア	6,000円～	8,500円～
３名～	5,000円～	7,500円～
10名～	4,500円～	7,000円～

10名様以上 カレープラン２食付　5,900円
尚、夕食のみ・朝食のみの宿泊も可。
また、食事はグレードアップもできます。

お部屋貸出し料金（平日）

（税込価格）

	3時間まで	延長1時間	終日
10畳	2,100円	700円	4,500円
12畳	2,400円	800円	5,200円
３階ALL（２部屋付）	テーブル・椅子等は無料貸出し		50,000円

詳細は職員までお尋ねください！

大広間

会議やミーティングなどでのご利用はもちろん、サークル・部活の合宿、企業研修にピッタリ。西日本最高峰石鎚山の麓、石鎚神社境内に滞在して絆を深め、一緒に思い出作りしませんか？ゆっくりと旅の疲れを癒してください。

会館で受付をすれば、どなたでも禊をすることができます。

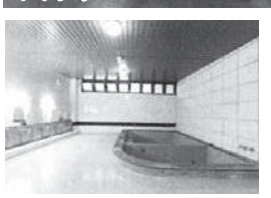
また、会館１階には休憩スペース「ご神水かふぇ」があり、御神水でいれたコーヒーを味わうことができます。

おみやげ売場

ご神水かふぇ

ギャラリー

お部屋


お風呂

お問い合わせ（ご宿泊・会場貸し出し）

TEL 0897-55-4168

FAX 0897-55-7281

【営業時間】　夏季　8：30～17：00
　　冬季　8：30～16：30

facebook

Instagram

石鎚神社会館

愛媛県西条市西田甲797（JR石鎚山駅より徒歩10分）

https://ishizuchisan.jp

第57回石鎚青少年錬成会　ご案内

日　　時	令和6年8月17日（土）～8月19日（月） 8月18日（日）　石鎚山頂上山荘宿泊
集合場所	石鎚神社会館
集合時間	8月17日　午前8時30分
資　　格	小学校3年生以上
会　　費	一人8,000円 本来の会費は一人10,000円ですが、組合・教会・遙拝所・講社所属のお子様の健全育成を願い、石鎚敬神婦人会より参加費一人につき2,000円助成頂いております。 ＊引率者（保護者）の参加希望の方は事務所へご連絡下さい。
定　　員	20名先着順
旅　　費	片道運賃支給（学割使用）
申　　込	当社の組合・教会・遙拝所等に所属されているお子様の育成の講習会です。
持 参 品	筆記用具・洗面用具・運動靴（スパイクシューズ不可）・下着・雨カッパ・長袖シャツ・Tシャツ・水筒・ジャージ（色物可）・帽子・リュックサック・ウィンドブレーカー・タオル・会符（所有の方）・保険証（コピー可）・帽子用防虫ネット（必要な方）
※食　　事	**アレルギーをお持ちのお子様には対応出来かねます。**

- 女子はみそぎ用に下着（白かベージュ）を余分に用意下さい。
- お小遣い五千円まで（成就・頂上の自由時間に買い物を許可する場合があります）
- 登山時の着替え用として（ジャージ下・下着・靴下・Tシャツ・タオル）日程必要数プラス一枚の準備をお願いします。
- 飲み薬・コルセット・サポーター等、体調管理に必要な備品は持参して下さい。

（参考）　○令和5年8月15日　石鎚山頂上の気温　朝16℃　昼22℃
必ず長袖のシャツ・ウインドブレーカー等を持参下さい。

申込期限

7月31日(水)迄

※不明な方は本社までお問い合わせ下さい。

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797
錬成会事務局　担当/曽我部洋輔　電話0897-55-4044

NPO法人

石鎚森の学校活動報告

※石鎚山系 手作り額　写真展の軌跡

【日　時】 3月22日（金）
【会　期】 3月9日（土）～31日（日）
【場　所】 久万高原町　まちなか交流館
【撮影印刷・額制作】 秋本栄氏
【参加者】 曽我部英司理事、十亀雅史事務局長、岩本昌美事務局スタッフ

秋本栄さん恒例の手作り写真展もコロナ禍でなかなか開催できませんでしたが、今回これまでの西条市ではなく久万高原町を会場として久々の開催。私達スタッフも楽しみに伺わせていただきました。

今回は2部制で行われ、9日からの第1部のテーマは「宙の微笑み」、19日からの第2部のテーマは「手作り額　写真展の軌跡」でした。

私達は第2部の時に伺いました。これまで秋本さんがおこなってきた写真展で展示されてきた写真が飾られていましたが、私、十亀事務局長は初めて見る写真ばかりで、見入り聞き入り自然の織りなす景色・空間を楽しませてもらいました。

秋本さんの写真は、アクリル板がないのでとてもクリアな質感で臨場感があり、とても見やすい作品になっています。

また、外周辺では「くままちひなまつり」が開催されており、お店ごとにお雛様が飾られ、通りを色鮮やかに染めつつ賑わいを見せていました。

事務局長になって初めての交流活動でしたが、本業とは違った目線で楽しみつつ頑張っていきたいと感じる1日となりました。

今後もお元気で、更なるご活躍とすてきな作品を期待しています。有り難うございました。

※愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会 解散総会

【日　時】 3月25日（月）13時30分～15時
【場　所】 愛媛県立衛生環境研究所　多目的会議室
【事務局】 愛媛県自然保護課
【参加会員】 愛媛県自然保護課、県生物多様性センター、西条市環境政策課、久万高原町ふるさと創生課、面河山岳博物館、愛媛大学社会共創学部、愛媛植物研究会、NPO法人西条自然学校、NPO法人石鎚森の学校、愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟、面河渓を愛する会、えひめ森の案内人会、いしづち森林組合、久万広域森林組合、宇摩森林組合、愛媛県勤労者山岳連盟、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所、農林水産省林野庁四国森林管理局愛媛森林管理署、スタッフ約30名
【事務局参加】 曽我部英司理事、十亀雅史事務局長、岩本昌美・黒河由佳両事務局スタッフ

標記会合が開催され、まず令和5年度の石鎚山系生物多様性保全計画事業報告、令和5年度事業決算報告及び監査報告が承認されました。この後、シカの食害等が石鎚山系にとどまらず、愛媛県全体に広がっていることにより、この度当協議会を解散し、新たに「愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会（案）」を立ち上げるべく話し合いがなされ、「石鎚山系生物多様性保全推進協議会」は解散の運びとなりました。

今後は愛媛県全県に範囲を拡大し、関係する市町や森林組合にも参画してもらい、シカの食害等に対応する調査、自然保全等に取り組んでいく予定です。

文責　事務局長　十亀雅史

ご奉賛をお願いします

本社用提灯　献灯

本社用境内提灯献灯のご奉賛をお願いしています。

設置期間：春大祭・秋大祭
お山開き大祭
年末年始（十年間）

設置場所：本社境内
※各所ローテーション
ご奉賛金：一張 金五万円
（維持管理費を含む）

ご奉賛下さいました方のご住所（県名市名）、お名前（二名まで）を記入させて頂きます。
※文字の大きさは記入例と変わることが有ります。ご了承ください。

↑ 記入例 ↑

※お申込みは、お電話にて受付させていただきます。

お申込み・お問合わせ
石鎚神社　担当　大岡
☎0897-55-4044

受付方法

担　当：石鎚神社　大岡
受　付：電話のみ
受付後：確認票と振替用紙を送付

確認票

ご奉賛申込書	
石鎚神社本社 境内用提灯	
住所	〒○県○市○町○丁目○番地
氏名	石鎚太郎
電話番号	電話番号
提灯への記入内容	○県○市 石鎚太郎 〃 花子

石鎚社報

〒七九三―八五五五
（発行所）西条市西田甲七九七
石鎚神社・石鎚本教
【連絡先】電話（〇八九七）
五五―四〇四四　本社
五五―七二四二　FAX
五五―四一六八　会館
五五―七二八一　FAX
五九―〇一〇六　成就
五九―〇四〇八　FAX
五三―〇〇〇八　土小屋
【振替】〇一六八〇―〇―一八三六〇
【発行代表者】武智正人
【編集】大岡忠徳
【印刷所】プリ・キュウ・プレス
【購読料】送料共　年五〇〇円

石鎚神社 で 検索

石鎚神社HP